

令和2年度 第2次公立那賀病院改革プラン点検・評価について

1. 総論

令和元年度決算において、経常損失であり当初作成したプランを下回る結果となった。

年度末における新型コロナウイルス発生による患者数等への影響や消費税増税に伴う影響などもあるが、改善していく様子は見えていない。

今後はプランにある数値目標などを基準として、安定した経営が出来る様に経営努力が求められる。

2. 改革プラン進捗状況

第2次公立那賀病院改革プラン 令和元年度実績調書

病院事業会計名 公立那賀病院経営事務組合

(単位：百万円、人、%)

項目	平成28年度策定 改革プラン 令和元年度分	令和元年度実績		備考
医業収益	6,211	6,954	○	入院患者数の増加、高額薬剤の使用など
経常収益A	7,012	7,737	○	
医業費用	6,629	7,400	×	収入の増加に伴う高額薬剤等の増、給与費等の増加があった
うち職員給与費	3,149	3,393	×	医師数等の増加や人事院勧告に伴う賞与率の増加などがあった
経常費用B	6,987	7,828	×	高額薬剤、給与費の増加等があった
経常損益 (A-B)	25	-91	×	大きな要因としては令和2年2～3月にかけて新型コロナ発生に伴い患者数の減少がある
経常収支比率	100.4	98.8	×	大きな要因としては令和2年2～3月にかけて新型コロナ発生に伴い患者数の減少がある
医業収支比率	93.7	94.0	○	
材料費の対医業収益比率	24.1	26.2	×	外来収益増に伴う高額薬剤の使用など
1日当たり入院患者数	243.0	249.5	○	
1日当たり外来患者数	461.0	492.2	○	
医師数	48.9	59.2	○	令和元年度としては呼吸器外科1名、呼吸器科1名、脳外科1名などが増員となった
資金不足の額	-1,859	-1,694	×	経常収支がマイナスとなったため
救急車受入数	2,280	2,297	○	
手術件数	1,740	1,888	○	
紹介率	60.9	63.8	○	
逆紹介率	61.9	62.3	○	